

## 平成 25 年度における検討方針・課題（案）

### 1. 品目の追加等の検討について

#### (1) 平成 25 年度募集の新規提案について

物品、役務及び公共工事について、例年どおり提案募集を実施する予定（5 月下旬を目途に募集開始）

#### (2) 新規提案以外の検討品目

専門委員会設置による重点検討事項案については資料 5 別紙参照  
公共工事の継続検討品目群（ロングリスト）として整理を行った品目

### 2. 現行の基準等の強化・見直し等について（新規提案・重点改善品目以外）

#### (1) 紙類

- 総合評価指標を導入しているコピー用紙及び印刷用紙について、判断の基準を満足する製品の市場への供給状況等に関する情報収集・現状把握、基礎情報の蓄積。なお、平成 24 年度に引き続き製紙メーカーに対する調査を実施予定
- 総合評価指標の考え方、内容等について地方公共団体、事業者はもとより、広く一般消費者に対し、引き続き、普及啓発を行うとともに、必要な情報提供に努める

#### (2) 文具類・オフィス家具等

##### 文具類

- 特定調達物品の市場占有率が高い品目について判断の基準等の見直しに関する検討
- 従前の再生材の配合率に加え、リデュース、リユースの観点等の新たな判断の基準の考え方についての可能性の検討

##### オフィス家具等

- 大部分の材料が金属類である製品の適用範囲の拡大に係る検討

### ( 3 ) 省エネ法の特定機器

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）の特定機器のうち判断の基準が新たに設定または基準が見直される機器等について、トップランナー基準達成状況、国等の機関の調達状況等を検討の上、適切に特定調達品目への追加または判断の基準の見直しを実施。

トップランナー基準設定（検討中）への対応

- ヒートポンプ給湯器（平成 24 年 9 月最終とりまとめ）
- 電球形 LED ランプ(A形)についてトップランナー基準の検討が開始され、平成 24 年度内のとりまとめを目指す方針であることから、今後の検討状況を注視

トップランナー基準強化（検討中）への対応

- 複写機等（平成 23 年 12 月最終とりまとめ。後述）
- ガス・石油温水機器

多段階評価基準への追加・見直しへの対応

- 多段階評価基準が導入・改定された特定機器に多段階評価基準の 4 つ星を目安とした判断の基準等の設定を検討

経過措置設定品目の市場供給状況

- 電気冷蔵庫のうち定格内容積 400 ℓ以下の製品の供給状況の確認
- 電気便座のうち暖房便座、貯湯式の製品の供給状況の確認

### ( 4 ) 複写機等

複写機等については、対象範囲を従前のモノクロ複写機に加え、プリンタ、複合機<sup>1</sup>に拡大した、新たなトップランナー基準が平成 23 年 12 月にとりまとめられたところである。このため、告示された場合には、トップランナー基準の設定状況や製品の供給状況等を踏まえ、判断の基準等の見直しを検討する。

### ( 5 ) OA 機器（プロジェクタ）

- 光源ランプに水銀を使用しているプロジェクタの光源ランプ・製品を回収する仕組みの構築に対して設定した経過措置について仕組みの構築状況を確認の上、適切に対応

### ( 6 ) 照明

- 蛍光灯照明器具のうち家庭用の製品に対し設定した経過措置について供給

---

<sup>1</sup> 複写機能、印刷機能、スキャナ機能、ファクシミリ機能のうち 2 つ以上の機能を有するもの

状況を確認の上、適切に対応

#### ( 7 ) 自動車等

- バイオエタノール混合ガソリンの利用促進に係る検討

#### ( 8 ) 印刷

- デジタル印刷に使用されるインク、トナー等をはじめとした古紙リサイクル適性ランクの評価及びランクリスト<sup>2</sup>の検討状況を踏まえ、印刷役務に係る判断の基準等への反映について検討を実施

### 3 . その他の検討事項

#### ( 1 ) 検討品目・事項

次年度以降、緊急度、環境負荷低減効果等を考慮し、判断の基準等の見直しの検討を実施する品目及び検討に当たって留意すべき事項等を例示すると、以下のとおり。

物品に関する検討内容等

- 技術開発の進展が著しい品目については、判断の基準等の見直しを早期かつ適切に実施
- 海外の規制や指令等に伴う判断の基準等の変更の必要性に係る検討

役務に関する検討内容等

- 自動車整備のエンジン洗浄の判断の基準の見直しに向けた継続的な情報蓄積・検討
- 輸配送等役務の提供に当たって自動車を使用する場合の判断の基準等の見直しを検討（使用される車両の環境負荷低減等）
- 照明機能提供業務についてLED照明器具など対象範囲の拡大の必要性に係る検討
- 役務全般についてサービサイジングの観点からの検討

分野横断的事項

- 家電製品、OA機器、自動販売機等について希少金属類の減量化や再生利用のための設計上の工夫等の配慮事項としての設定可能性について検討
- エコマーク等既存の環境ラベルとの整合性の確保について検討
- 省資源化（リデュース）に配慮された製品の優先調達について検討（可能

<sup>2</sup> 公益財団法人古紙再生促進センター作成、社団法人日本印刷産業連合会運用

な品目については判断の基準等を検討)

## (2) グリーン購入の推進について

調達者向手引きの改訂

- 調達者が各特定調達品目の調達に当たって確認すべき項目や判断の基準等について解説した「グリーン購入の調達者の手引き」への品目の追加・記載内容の変更等の改訂(グリーン購入法の基本方針改定内容の反映)

地方公共団体(特に町村)への普及・啓発

- グリーン購入の取組を推進するための考え方や具体的な方法について紹介した「地方公共団体のためのグリーン購入取組ガイドライン」を活用した地方ブロック別説明会の実施

事業者等への普及・啓発(地方ブロック別説明会等)

プレミアム基準策定ガイドラインの普及・活用の促進

- 本年度策定する「プレミアム基準策定ガイドライン」の調達方針の作成等への活用促進

関連する他の制度との整合、施策との連携、既存環境ラベルの基準等の活用に係る検討

- カーボン・オフセット認証ラベル、カーボンフットプリントマークの対象製品等の市場への供給状況等に関する情報収集・現状把握(プレミアム基準策定ガイドラインとの連携等)

諸外国におけるグリーン購入に係る各種基準の継続的な調査及び基準設定の考え方等に係る情報の整理・分析(世界における日本の基準のポジションを確認)